

- 1 学校マネジメントについて
- 2 教職員の人材育成について
- 3 学校、家庭、地域との協働について

【学校マネジメント】

- 目標達成への学校運営組織「プロジェクトチーム」の実動

学校の経営計画から「賀来小中学校マネジメントツール」の作成により、取組の企画・立案、実施、改善まで一連の流れを周知してきました。今後は、各チームが組織として力を発揮して検証、改善のサイクルへと繋がり、児童生徒の成果が結果となることを目指します。

校長として、職員には学校経営への参画意識を持たせて、充実感・達成感を味わえるような学校経営を目指します。

- カリキュラムマネジメントの確立

新学習指導要領（第1章総則第1の4）には、「カリキュラム・マネジメント」の充実が求められており、本校においても、教育活動の質を向上させ、児童生徒の学習の効果の最大化を図るために、学校が目指すべき方向や課題を明確にして、状況のあいまい性を削減し、職員の日常的な判断や行動選択の基準を明らかにします。

【教職員の人材育成】

- 教職員の資質・能力の向上

教職員評価システムと目標達成の「賀来小中学校マネジメントツール」の連動及び取組実践や組織的・計画的なOJTの活用により、全職員がそれぞれの立場で、キャリアステージを意識した教育実践となることを目指します。教員については、「大分県公立学校教員育成指標（H29年10月）」をもとに、校内研究の中で、本校における資質・能力の具体を明らかにして、取組実践を目指します。

【学校、家庭、地域との協働】

- 「地域とともにある学校」への転換促進

本校は、学校運営協議会（CS指定校）が設置されています。新学習指導要領が目指す「社会に開かれた教育課程」の実現の観点から、学校・家庭・地域が学校の重点目標を共有した上で、「賀来小中学校マネジメントツール」等の作成から、PTA役員等への協議の機会を設けて円滑なる実施に向けて進めています。今後は、家庭や地域での取組内容については学校運営協議会で協議し、取組の実践においても、家庭・地域の主体性の喚起に努めていきます。